

令和2年度秋の人身被害を受けた クマによる人身被害の防止対策について

背景

- ①例年、9～11月に人身被害が多発
- ②ブナは昨年に続く凶作であり、10月以降の出没件数が激増
- ③さらに、10月以降、住宅地や里山周辺の畑等で人身被害が3件(3名)発生
(10月末現在で5件5名)
- ④住宅地や平野部などこれまでにない人の生活圏に出没
(米沢市、新庄市、鶴岡市、三川町等)

警戒対応レベル

- ・クマ出没に対する県の対応レベルについて、改めて別紙のとおり整理
- ・本日、県民の皆様の安全・安心を確保するため「クマ出沒注意報」を発出

期間

令和2年11月4日から12月25日まで

山形県におけるクマ出没に対する対応レベル

	状態	参考となる指標等	対応策
警報 レベル	県内で死亡事故発生	死亡事故 (1件) (直近は昭和63年)	体制：総合クマ対策推進チーム会議 対応：なお一層の厳重な警戒
注意報 レベル	県内各地で人身事故発生 (5件)	人身事故 (5件)	体制：総合クマ対策推進チーム会議 対応：厳重な警戒の呼びかけ
注意喚起 レベル	県内で人身事故発生	人身事故 (1～4件)	対応：市町村に注意喚起依頼 報道機関に注意喚起依頼

警戒呼びかけの取組み

手段	内容
ホームページ・SNS メール等による情報発信	①警戒呼びかけ ②出没・人身被害情報の発信
車両等による 広報パトロール	①自治体広報車、防災無線による呼びかけ ②警察・猟友会によるパトロール ③消防・消防団による呼びかけ
広報・学校連絡・その他	①広報誌・回覧板による情報発信 ②学校での呼びかけ、見守り活動 ③関係団体等による呼びかけ

※ 上表の対応レベルに応じ警戒呼びかけの範囲や頻度を拡大。